

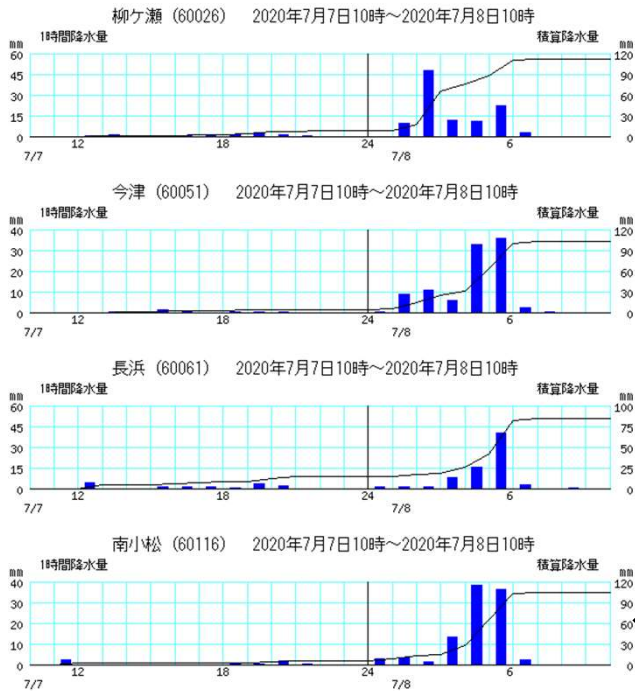
令和2年7月5日から8日にかけての梅雨前線による大雨について (滋賀県の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

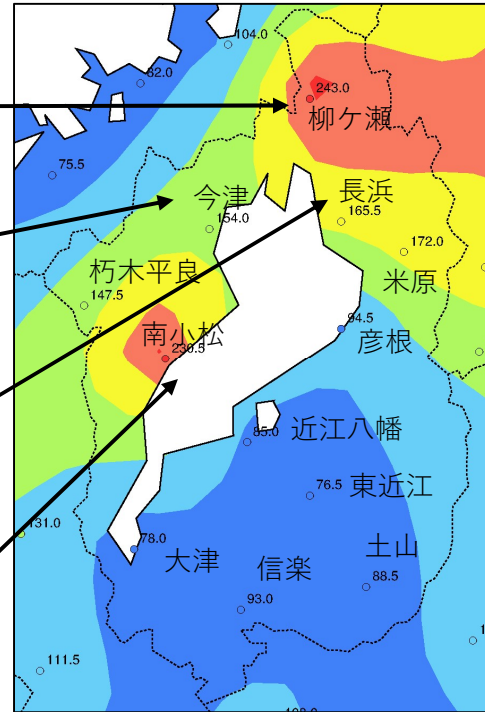
梅雨前線が5日から8日にかけて西日本付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、滋賀県では大気の状態が非常に不安定となり前線の活動が活発となりました。このため、滋賀県では大雨となり、8日07時ごろ、大津市伊香立途中町の国道で土砂崩れが発生しました（滋賀県調べ、11時現在）。
降り始め（5日19時00分）から8日10時00分までの総雨量（速報値）は、長浜市余呉町柳ヶ瀬243.0ミリ、大津市南小松230.5ミリを観測しました。

**アメダス時系列グラフ
(7月7日10時～8日10時まで)**



※横軸は時刻を示す。
※降水量棒グラフは1時間降水量（左軸）、折れ線グラフは積算降水量（右軸）を示す。

**アメダス期間降水量
(7月5日19時～8日10時まで)**



降り始めからのアメダス総雨量(速報値) 7月5日19時から8日10時まで
(単位 mm)

1 長浜市余呉町柳ヶ瀬	243.0
2 大津市南小松	230.5
3 米原市朝日	172.0
4 長浜市唐国	165.5
5 高島市今津	154.0
6 高島市朽木平良	147.5
7 彦根	94.5
8 甲賀市信楽	93.0
9 甲賀市土山	88.5
10 近江八幡	85.0
11 大津市萱野浦	78.0
12 東近江市桜川東	76.5

単位：mm
40 70 100 130 160 190 220 250